

## 2 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	法政大学								
学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員 年次 人	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
法学部						1.11		東京都千代田区富士見 二丁目17番1号	平成27年度入学定員増(10人)
法律学科	4	483	—	1,912	学士 (法学)	1.10	昭和24年度		
政治学科	4	172	—	688	学士 (法学)	1.12	昭和24年度		
国際政治学科	4	149	—	596	学士 (法学)	1.16	平成17年度		
文学部						1.06		東京都千代田区富士見 二丁目17番1号	
哲学科	4	77	—	308	学士 (文学)	1.04	昭和24年度		
日本文学科	4	187	—	748	学士 (文学)	1.03	昭和24年度		
英文学科	4	126	—	504	学士 (文学)	1.07	昭和24年度		
史学科	4	100	—	400	学士 (文学)	1.11	昭和36年度		
地理学科	4	99	—	396	学士 (文学)	1.05	昭和36年度		
心理学科	4	66	—	264	学士 (文学)	1.09	平成15年度		
経済学部						1.11			
経済学科	4	482	—	1,928	学士 (経済学)	1.07	昭和24年度		
国際経済学科	4	244	—	976	学士 (経済学)	1.13	平成13年度		
現代ビジネス学科	4	150	—	600	学士 (経済学)	1.18	平成17年度		
社会学部						1.07		東京都町田市相原町 4342番地	
社会政策科学科	4	216	—	864	学士 (社会学)	1.06	昭和27年度		
社会学科	4	316	—	1,264	学士 (社会学)	1.05	昭和35年度		
メディア社会学科	4	210	—	840	学士 (社会学)	1.11	平成14年度		
経営学部						1.09		東京都千代田区富士見 二丁目17番1号	
経営学科	4	316	—	1,264	学士 (経営学)	1.08	昭和34年度		
経営戦略学科	4	232	—	928	学士 (経営学)	1.12	平成15年度		
市場経営学科	4	213	—	852	学士 (経営学)	1.09	平成15年度		
国際文化学部						1.06		東京都千代田区富士見 二丁目17番1号	
国際文化学科	4	249	—	996	学士 (国際文化学)	1.06	平成11年度		
人間環境学部						1.07		東京都千代田区富士見 二丁目17番1号	
人間環境学科	4	333	—	1,332	学士 (人間環境学)	1.07	平成11年度		

現代福祉学部 福祉コミュニティ学科	4	147	—	588	学士 (社会福祉学)	1.15 1.13	平成22年度	東京都町田市相原町 4342番地	
臨床心理学科	4	84	—	336	学士 (臨床心理学)	1.17	平成22年度		
情報科学部 コンピュータ科学科	4	78	—	312	学士 (理学)	1.00 1.02	平成12年度	東京都小金井市梶野町 三丁目7番2号	
デジタルメディア学科	4	78	—	312	学士 (理学)	0.98	平成12年度		
キャリアデザイン学部 キャリアデザイン学科	4	294	—	1,176	学士 (キャリアデザイン)	1.11 1.11	平成15年度	東京都千代田区富士見 二丁目17番1号	
デザイン工学部 建築学科	4	132	—	528	学士 (工学)	1.05 1.02	平成19年度	東京都千代田区富士見 二丁目17番1号	
都市環境デザイン工学科	4	80	—	320	学士 (工学)	1.04	平成19年度		
システムデザイン学科	4	80	—	320	学士 (工学)	1.11	平成19年度		
理工学部 機械工学科	4	143	—	572	学士 (理工学)	1.01 1.00	平成20年度	東京都小金井市梶野町 三丁目7番2号	
電気電子工学科	4	110	—	440	学士 (理工学)	1.01	平成20年度		
応用情報工学科	4	110	—	440	学士 (理工学)	1.00	平成20年度		
経営システム工学科	4	80	—	320	学士 (理工学)	1.04	平成20年度		
創生科学科	4	110	—	440	学士 (理工学)	1.03	平成23年度		
生命科学部 生命機能学科	4	72	—	288	学士 (生命科学)	0.99 0.94	平成20年度	東京都小金井市梶野町 三丁目7番2号	平成26年度入学定員減 (△60人)
環境応用化学科	4	80	—	320	学士 (理学)	0.98	平成20年度		
応用植物科学科	4	78	—	234	学士 (生命科学)	1.05	平成26年度		
グローバル教養学部 グローバル教養学科	4	100	—	400	学士 (国際教養学)	1.07 1.07	平成20年度	東京都千代田区富士見 二丁目17番1号	平成27年度入学定員増 (34人)
スポーツ健康学部 スポーツ健康学科	4	165	—	660	学士 (スポーツ健康学)	1.10 1.10	平成21年度	東京都町田市相原町 4342番地	
通信教育部 法学部 法律学科	4	3,000	—	12,000	学士 (法学)	0.05	昭和25年度	東京都千代田区富士見 二丁目17番1号	
文学部 日本文学科	4	3,000	—	12,000	学士 (文学)	0.08	昭和25年度	東京都千代田区富士見 二丁目17番1号	
史学科	4		昭和25年度						
地理学科	4		昭和30年度						
経済学部 経済学科	4	3,000	—	12,000	学士 (経済学)	0.13	昭和25年度	東京都千代田区富士見 二丁目17番1号	
商業学科	4		昭和25年度						

大学院の名称	法政大学大学院								東京都千代田区富士見 二丁目17番1号
人文科学研究科 哲学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (哲学)	0.39	昭和26年度		
哲学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	修士 (学術)				
					博士 (哲学)	0.83	昭和30年度		
					博士 (学術)				
日本文学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (文学)	1.52	昭和26年度		
					修士 (学術)				
日本文学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (文学)	2.17	昭和30年度		
					博士 (学術)				
英文学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (文学)	0.45	昭和26年度		
					修士 (学術)				
英文学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (文学)	0.17	昭和30年度		
					博士 (学術)				
史学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (歴史学)	0.79	昭和27年度		
					修士 (学術)				
史学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (歴史学)	1.83	昭和30年度		
					博士 (学術)				
地理学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (地理学)	0.36	昭和28年度		
					修士 (学術)				
地理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (地理学)	0.33	昭和30年度		
					博士 (学術)				
心理学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (心理学)	0.70	平成18年度		
心理学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (心理学)	1.22	平成18年度		
国際文化研究科 国際文化専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (国際文化)	0.73	平成18年度	東京都千代田区富士見 二丁目17番1号	
国際文化専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (国際文化)	0.11	平成18年度		
					博士 (学術)				
経済学研究科 経済学専攻 (修士課程)	2	50	—	100	修士 (経済学)	0.47	平成16年度	東京都千代田区富士見 二丁目17番1号	
経済学専攻 (博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (経済学)	0.10	平成16年度		
法学研究科 法学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (法学)	0.25	平成16年度	東京都千代田区富士見 二丁目17番1号	
法学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (法学)	0.33	平成16年度		

政治学研究科 政治学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (政治学)	0.50	平成16年度	東京都千代田区富士見 二丁目17番1号
政治学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	修士 (学術) 博士 (政治学)	0.13	平成16年度	
国際政治学専攻 (修士課程)	2	25	—	50	修士 (国際政治学)	0.20	平成22年度	
社会学研究科 社会学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (社会学)	0.47	平成16年度	東京都千代田区富士見 二丁目17番1号
社会学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	修士 (学術) 博士 (社会学)	0.53	平成16年度	
経営学研究科 経営学専攻 (修士課程)	2	60	—	120	修士 (経営学)	0.68	平成16年度	東京都千代田区富士見 二丁目17番1号
経営学専攻 (博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (経営学)	0.50	平成16年度	
人間社会研究科 福祉社会専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (福祉社会)	0.36	平成14年度	東京都町田市相原町 4342番地
臨床心理学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (学術) 修士 (臨床心理学)	0.90	平成14年度	
人間福祉専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (人間福祉) 博士 (学術)	0.53	平成14年度	
スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (スポーツ健康学)	1.05	平成28年度	東京都町田市相原町 4342番地
情報科学研究科 情報科学専攻 (修士課程)	2	30	—	60	修士 (理学)	0.88	平成14年度	東京都小金井市梶野町 三丁目7番2号
情報科学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (理学)	0.33	平成14年度	
政策創造研究科 政策創造専攻 (修士課程)	2	50	—	100	修士 (政策学)	0.88	平成20年度	東京都千代田区富士見 二丁目17番1号
政策創造専攻 (博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (政策学) 博士 (学術)	0.60	平成20年度	

デザイン工学研究科 建築学専攻 (修士課程)	2	55	—	110	修士 (工学)	1.15	平成22年度	東京都千代田区富士見 二丁目17番1号	標準履修年限が1年および3年のコースも設置する
建築学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (工学)	0.33	平成22年度		
都市環境デザイン工学専攻 (修士課程)	2	25	—	50	修士 (工学)	0.58	平成22年度		
都市環境デザイン工学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (工学)	0.50	平成22年度		
システムデザイン専攻 (修士課程)	2	30	—	60	修士 (工学)	0.46	平成22年度		
システムデザイン専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (工学)	0.11	平成22年度		
公共政策研究科 公共政策学専攻 (修士課程)	2	25	—	75	修士 (公共政策学)	0.70	平成24年度	東京都千代田区富士見 二丁目17番1号	平成28年度入学定員減 (25人)
公共政策学専攻 (博士後期課程)	3	10	—	30	修士 (学術)	0.73	平成24年度		
サステナビリティ学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (サステイナビリティ学)	0.39	平成28年度		
サステナビリティ学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (サステイナビリティ学)	0.80	平成28年度		
キャリアデザイン学研究科 キャリアデザイン学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (キャリアデザイン学)	0.82	平成25年度		
理工学研究科 機械工学専攻 (修士課程)	2	50	—	100	修士 (工学)	1.01	平成25年度	東京都小金井市梶野町 三丁目7番2号	平成28年4月より 専攻名称変更 システム工学専攻→システム理工学 変更
機械工学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (工学)	0.50	平成25年度		
電気電子工学専攻 (修士課程)	2	50	—	100	修士 (工学)	1.04	平成25年度		
電気電子工学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (工学)	0.07	平成25年度		
応用情報工学専攻 (修士課程)	2	50	—	100	修士 (工学)	0.73	平成25年度		
応用情報工学専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士 (工学)	0.25	平成25年度		
システム理工学専攻 (修士課程)	2	75	—	150	修士 (工学)	0.49	平成25年度		
システム理工学専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士 (工学)	0.33	平成25年度		
応用化学専攻 (修士課程)	2	30	—	60	修士 (理工学)	0.78	平成25年度		
応用化学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (理工学)	0.67	平成25年度		
生命機能学専攻 (修士課程)	2	40	—	80	修士 (生命科学)	0.78	平成25年度		
生命機能学専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士 (生命科学)	0.42	平成25年度		



### 3 教員組織の状況

<公共政策研究科 サステイナビリティ学専攻（修士課程）>

#### (1) 設置基準上の必要専任教員数

現在（報告書提出時）における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、現在（報告書提出時）における設置基準上の必要教授数	現在（報告書提出時）における設置基準上の必要研究指導補助教員数
5	4	5
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日 文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

#### (2) 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
15	2	1	0	18	14	4	0	0	18
(13)	(2)	(1)	(0)	(16)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
18	0	0			15	0	0		
(16)	(0)	(0)							

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

#### (3) 年齢構成

年齢構成	
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
65	1
歳	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

#### (4) 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{18} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

#### (5) 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{1}{18} = \boxed{5.55} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

#### 4 前年度のAC調査において付された意見への対応状況

意見		履行状況		未履行事項についての実施計画
該当なし		—		—

- (注) ・前年度の設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。なお、未履行事項がある場合は、今後の実施計画を具体的に記入してください。
- ・「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。